



●平成25年5月号 ●No.101 ●発行／館山市議会 ●〒294-8601館山市北条1145-1 ●電話0470-22-3527
議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



議員による館山ファミリーパークの視察

3月定例市議会は、2月22日から3月22日までの会期29日間にわたって開かれ、市長提案の29議案と議会提出の3議案が原案どおり可決されました。

会議初日（2月22日）は、会期を29日間と決定した後、市長から新年度の施政方針演説及び各議案について提案理由の説明が行われました。

2月27日は、5人の議員が一般質問を行い、その後議会提出の議案の審査を行ないました。

2月28日は引き続き5人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考え方をただしました。

3月5日は、新年度予算を除く各議案について質疑を行い、所管の常任委員会に審査を付託しました。

3月8日は、新年度予算に対する質疑を行った後、予算審査特別委員会を設置して審

査を付託し、その後追加議案2件の審議を行なった後、所管の常任委員会に審査を付託しました。

最終日（3月22日）は、各委員会の委員長が、委員会での審査の経過及び結果を報告した後、討論、採決を行いました。

3月定例市議会は、2月22日から3月22日までの会期29日間にわたって開かれ、市長提案の29議案と議会提出の3議案が原案どおり可決されました。

会議初日（2月22日）は、会期を29日間と決定した後、市長から新年度の施政方針演説及び各議案について提案理由の説明が行われました。

2月27日は、5人の議員が一般質問を行い、その後議会提出の議案の審査を行ないました。

2月28日は引き続き5人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考え方をただしました。

3月5日は、新年度予算を除く各議案について質疑を行い、所管の常任委員会に審査を付託しました。

3月8日は、新年度予算に対する質疑を行った後、予算審査特別委員会を設置して審

■主な内容■

- ★議案の概要と委員会審査 2~6頁
- ★一般質問 7~11頁
- ★議決結果 12頁

平成25年度予算などを議決（第8号）を議決

平成25年第1回臨時市議会（1月28日開催）

平成24年度一般会計補正予算

議案概要と委員会審査

◇今回から、文字が大きくなり、ページ数も増やしました。

3月定例会に提案された
議案を紹介します。

慎重に審査を行いました。
委員は次のとおりです。 (○)

議案第2号～議案第6号
平成25年度館山市一般会計予
算及び4特別会計予算 II 左表

○秋山 貴 ○三澤 望月
石井 敏宏 龍崎 滋 智
太田 浩 本多 成年
石井 信重 内藤 欽次



予算審査特別委員会の様子

予算審査特別委員会の審査
(委員長 秋山 貴議員)
平成25年度一般会計及び4
特別会計予算の審査に当たり
り、9人の委員で構成する予
算審査特別委員会を設置し、

歳出において、契約事務費
中、ちば電子調達システム利
用負担金について、今後の継
続性、及び負担軽減の内容を
聞いたところ、千葉県電子自
治体共同運営協議会のシステ
ムに参入するもので、毎年継
続してかかる経費である。ま
た、インターネットで入札参
加ができるので、市役所まで

出向く負担が軽減される、と
の説明がありました。
福祉施設運営事業に関し
て、福祉作業所の運営状況を
聞いたところ、利用者は現在
16名であるが、年度途中での
入退所により変動がある。指
定管理に移行したことによ
り、新たな仕事の種類がふえ
たり、指定管理者が運営する、
他の施設との連携が図れるよ
うになつたことなどのメリット
があつた、との説明があり
ました。

子ども医療費支給事業中、
子ども医療費給付金につい
て、内容、及び市長の公約で
ある、6年生までの医療費の
見通しを聞いたところ、小学
校3年生までの入通院と、中
学3年生までの入院にかか
る、保険対象医療費について
の助成である、6年生までの
通院医療費については、現在
の経済情勢や財政状況では難
しく、今回は見送つた、との
説明がありました。

52・3%であり、あまり高く
ないと認識している。予防で
きる「がん」として注目され
ながら、向上策を進めたい、
との説明がありました。

ごみ収集事業に関して、委
託料が29・7%増加した理由
を聞いたところ、可燃ごみの
収集については、従来1社に
委託していたものを、危機管
理の関係や、早めの時間に収
集を要望する声にこたえるた
めに、2つの業者に分割した。
このため、それぞれの委託に
かかる間接費等、業者の経費
が増加となつたことが主な要
因である、との説明がありま
した。

農業委員会事務費中、非常
勤職員賃金について、雇用の
理由を聞いたところ、農地利
用基礎調査事業の中で、現地
を訪問して調査をするため
に、1名を雇用するものであ
る。現地調査に当たっては、
農業委員会の職員2名のほ
か、農水産課職員の協力を得
て、2～3名のチームで、半
年程度かけて調査を実施する
予定である、との説明があり
ました。

なお、委員から、来年は是
非お願いしたい、との発言が
ありました。

予防接種事業に関して、子
宮頸がんワクチンの接種率を
聞いたところ、平成24年度で
まちなか再生支援事業につ
いて、以前、六軒町の銀座通り
で同じ事業をやつたときは、
核になる施設があつたが、今
回の長須賀地区ではなく、どこが
ろ、六軒町のような新しい施
設を建てる形ではなく、大学
と連携し、この地区に専門家
を居住させることで、支援を
する事業である、との説明が
ありました。

なお、委員から、是非この
事業が活性化につながり、残
るような事業にしていただき
たい、との発言がありました。

みなと施設整備事業中、館
山港修築工事負担金につい
て、館山夕日桟橋係留施設
概略設計の予算計上があるの
で、小型桟橋整備に係る今後
の予定を聞いたところ、県の
平成25年度の予算要求資料に
よると、平成24年度は静穏度
調査、平成25年度は概略設計
を行い、その後に基本設計、
詳細設計、実際の工事と進む
ケジュールが具体的に示され
ていない、との説明がありま
した。

住宅対策事業中、木造住宅
耐震診断費補助金について、

商工関係団体支援事業中、
平成25年度一般会計及び4
特別会計予算の審査に當た
り、9人の委員で構成する予
算審査特別委員会を設置し、

(3)

たてやま議会だより

一部事務組合事務中、安房市都市広域市町村圏事務組合常備消防費負担金について、約1500万円増額となつてゐる理由を聞いたところ、平成25年度については、旧消防本部の庁舎解体事業、各消防署共同司令センターの運用経費等がかさむためである、との説明がありました。

計画区域であり、農用地区域を除いた全てから都市計画税を徴収しているが、それぞれの固定資産の価格により徴収が異なり、一律ではない。都市計画税については、都市施設を増設し、今まで以上に参加者の快適性、安全性を高めるためである。支出が増える分、見合った歳入を得るために、フルマラソンのエントリー料を、4千円から5千円に、増額する予定である。との説明がありました。



館山夕日桟橋の様子

昭和56年5月以前に建築した木造住宅が相当ある館山市には必要な事業だと思うので、もつとPRし、市民を喚起させたらどうかと聞いたところ、市ホームページや、建築士協会を通じて広報しているが、今後も住宅リフォームと合わせながら、市民にPRしていくとの説明がありました。



館山若潮マラソンの様子

して、参加見込み人数は平成24年度と同数なのに、事業費が400万円増額している理由を聞いたところ、交通安全の面や、会場となる市民運動場の仮設のトイレ、更衣室等の施設を増設し、今まで以上に参加者の快適性、安全性を高めるためである。支出が増える分、見合った歳入を得るために、フルマラソンのエントリー料を、4千円から5千円に、増額する予定である。との説明がありました。

国民健康保険税に関する所得に比べ税額が高いのではなかと聞いたところ、国民健康保険の加入世帯については、高齢世帯や農家などの世帯が加入しており、サラリーマンに比べ、所得が低い人が多いので、必要な経費をまかなうためには、必然的に高くなってしまう傾向がある、との説明がありました。

この減額による退職手当への影響について聞いたところ、退職手当の計算については総合事務組合で実施しているので、地域により価格が異なり、一律ではない。都市計画税については、都市施設の整備により受益がでていると考える、との説明がありました。

議案第8号 館山市財政事情の作成及び公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について＝市の財政事情の公表の期日、掲載の要領及び公表の方法について改正をしようとするもの。

この減額による退職手当への影響について聞いたところ、退職手当の計算については総合事務組合で実施しているので、地域により価格が異なり、一律ではない。都市計画税については、都市施設の整備により受益がでていると考える、との説明がありました。

（委員長 石井信重議員）

議案第7号 館山市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例及び館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について＝市内の雇用状況を考慮し、行政としての姿勢を示すため、特別職及び教育長の給与を削減しようとす

るが、船形バイパス、下水道などを整備するための目的税なので、恩恵を受けられない地域を含めた市内全域から徴収するのはどうなのかと聞いたところ、館山市は全域が都市

議案第9号 フレフレ・たてやま応援条例の一部を改正する条例の制定について＝ふるさと納税の用途として、新たにコミュニティ医療推進事業を加えようとするもの。



救急医療を考えるワークショップ

議案第10号 館山市コミュニティ医療推進基金条例の制定について＝コミュニティ医療事業の推進及び市民の健康づくりのための基金を設置しようとするもの。

（9・10号）

総務委員会の審査

（9・10号）

（9・10号）

議案第11号 館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について』『地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律』により障害者自立支援法の題名が改正されることに伴い、所要の改正をしようとするもの。

文教民生委員会の審査
(委員長 三澤 智議員)

在宅という表現を、居宅に変えることについてどう理解するか、と聞いたところ、今まで館山市の表現が法に合っていないかったため、今回わざる形をとつた、との説明がありました。

議案第12号 館山市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について』『新型インフルエンザ等対策特別措置法が公布されたことに伴い、国内で新型インフルエンザ又は新感染症が発生した場合における対策本部に関し必要な事項を定めようとするもの。

議案第13号 館山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について』『地域主権一括法により介護保険法の一部が改正されたこと等に伴い、これまで省令で定めていた施設等の人員、設備、運営等に関する基準を定めようとするもの。

※参照(さんしやく) 他のもを参考にして長所を取り入れること。

いうときに、すぐ連絡がとれるよう進めていきたい、との説明がありました。

文教民生委員会の審査
(委員長 三澤 智議員)

議案第13号 館山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について』『地域主権一括法により、国の省令が市に下りてきたのかと聞いたところ、条例を定めるに当たっては、「従うべき基準」「標準」「参考すべき基準」の3つの区分がある。館山市は国の基準を上回る内容や、異なる内容を定めるほどの特段の事情、地域性はないと認め、従来の国との基準をそのまま採用した、との説明がありました。

これらの条例は地域主権一括法により、国の省令が市に下りてきたのかと聞いたところ、条例を定めるに当たっては、「従うべき基準」「標準」「参考すべき基準」の3つの区分がある。館山市は国の基準を上回る内容や、異なる内容を定めるほどの特段の事情、地域性はないと認め、従来の国との基準をそのまま採用した、との説明がありました。

農業における環境が厳しい中、2名削減することで、地域における弊害が起きないかと聞いたところ、農地の減少や農業者の減少を反映して削減する方向となつた。農業委員会の検討部会の中では、地域に偏りが生じるかもしれないが、残りの委員で業務を執行できると話し合つた、との説明がありました。

文教民生委員会の審査
(委員長 三澤 智議員)

議案第14号 館山市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について』『地域主権一括法により介護保険法の一部が改正されたこと等に伴い、これまで省令で定めていた施設等の人員、設備、運営等に関する基準を定めようとするもの。

農業委員会から定数削減の意見書を提出されたこと等に伴い、これまで省令で定めていた施設等の人員、設備、運営等に関する基準を定めようとするもの。

議案第15号 館山市農業委員会委員定数条例の一部を改正する条例の制定について』『地域主権一括法により道路農業委員会の真摯な議論を尊重し、行政改革の一環として委員定数の削減をしようとするもの。

建設経済委員会の審査
(委員長 本多成年議員)

議案第16号 館山市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の制定について』『地域主権一括法により道路が改正されたことに伴い、館山市が管理する市道に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法を定める条例の制定について』『地域主権一括法により道路法の一部が改正されたことに伴い、館山市が管理する市道に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法について定めようとするもの。

議案第17号 館山市が管理する市道に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法を定める条例の制定について』『地域主権一括法により道路法の一部が改正されたことに伴い、館山市が管理する市道に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法について定めようとするもの。

文教民生委員会の審査

緊急時に人員配置等の要請

より介護保険法の一部が改正されたこと等に伴い、これまで省令で定めていた施設等の人員、設備、運営等に関する基準を定めようとするもの。

議案第15号 館山市農業委員会委員定数条例の一部を改正する条例の制定について』『地域主権一括法により道路農業委員会の真摯な議論を尊重し、行政改革の一環として委員定数の削減をしようとするもの。

議案第16号 館山市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の制定について』『地域主権一括法により道路法の一部が改正されたことに伴い、館山市が管理する市道に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法を定める条例の制定について』『地域主権一括法により道路法の一部が改正されたことに伴い、館山市が管理する市道に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法について定めようとするもの。

議案第17号 館山市が管理する市道に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法を定める条例の制定について』『地域主権一括法により道路法の一部が改正されたことに伴い、館山市が管理する市道に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法について定めようとするもの。



農業委員会から定数削減の意見書を提出

議案第16号 館山市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の制定について』『地域主権一括法により道路農業委員会の真摯な議論を尊重し、行政改革の一環として委員定数の削減をしようとするもの。

議案第17号 館山市が管理する市道に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法を定める条例の制定について』『地域主権一括法により道路法の一部が改正されたことに伴い、館山市が管理する市道に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法について定めようとするもの。

(5)

たてやま議会だより

うに周知するのかと聞いたところ、この基準については、道路管理者である市が、これに従つて設計するためのものなので、工事を施工する際に設計書として請け負つた業者に周知することになる。設計をコンサルに依頼する場合は、市の条例を提示して、これに従い設計を委託する。なお、内容的には基本的に政令を参照して作ることになつてるので、従来政令で示されていたものが準用されていました。との説明がありました。

議案第19号 館山市準用河川管理施設等の構造基準に関する条例の制定について 地域主権一括法により都市公園法の一部が改正されたことに伴い、都公園の設置に関する基準を定めようとするもの。

議案第21号 館山市都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について 地域主権一括法により高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部が改正されたことに伴い、移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定めようとするもの。

平成24年度一般会計・特別会計補正予算

会計名	補正額	予算現額
一般会計	5億2162万7千円	182億1883万7千円
特別会計	国民健康保険	5979万9千円
	後期高齢者医療	△ 332万8千円
	介護保険	1億3000万0千円
	下水道事業	△ 316万4千円
合計	7億0493万4千円	312億4965万6千円

議案第23号 平成24年度館山市一般会計補正予算（第9号） 歳入歳出それぞれ7255万7千円を減額し、総額176億2465万3千円としようとするもの。

主要事項として、福祉基金として、「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業補助金について、補助要件非該当の状況を聞いたところ、生産組合から規模拡大のために申請があつたが、1戸の農家による申請に近いと判断し、組合と協議したところ、今回は辞退したとの申し出があつた、との説明がありました。

また、小谷家住宅保存活用支援基金積立金について、現在の小谷家の保存状況を聞いたところ、できるだけ早く直した方がよいと専門家から聞いています。改修に3500万円程度が見込まれるが、東京のNPO法人も資金を集めており、寄附の集まり状況を見ながら判断していくきたいとの説明がありました。

議案第22号 館山市下水道条例の一部を改正する条例の制定について 地域主権一括法により下水道法の一部が改正されたことに伴い、公共下

建設経済委員会の審査について、河川管理上必要とされる一般的技術的基準を定めようとするもの。

建設経済委員会の審査について、河川管理上必要とされるのか聞いたところ、市には準用河川が4河川ある。蟹田川といわれている河川は2つあり、豊津側の蟹田川については適用される、との説明がありました。

文教民生委員会の審査について、市の区域内の都市公園とは市内全域にあるものを指すのかと聞いたところ、そのとおりである、との説明がありました。

議案第24号 平成24年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ5979万9千円を追加し、総額69億3375万6千円としようとするもの。

主要事項として、一般被保險者療養給付費、退職被保險者等療養給付費。

文教民生委員会の審査について、出産数はあまり変わらないにも関わらず、出産育児一時金補助金が減額となつている理由について聞いたところ、1件1万円で15万円分を見込んだが、実際には6万円だつたことによる。この数字から見ると減っているが、社会保険や共済組合等もあるので、この部分だけで判断して



小谷家住宅（館山市布良）

しまうのは早計という印象がある、との説明がありました。

遅れているため、療養病床1つあたり、年間約400万円かかるので、約30床として約1億2000万円の増額となつた。

議案第25号 平成24年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) ≪歳入歳出それぞれ332万8千円を減額し、総額6億1997万1千円としようとするもの。主要事項として、後期高齢者医療広域連合納付金の減。

議案第26号 平成24年度館山市介護保険特別会計補正予算(第3号) ≪歳入歳出それぞれ1億3000万円を追加し、総額46億7761万7千円としようとするもの。主要事項として、居宅介護サービス給付費、施設介護サービス給付費、地域密着型介護サービス給付費。

議案第27号 平成24年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第3号) ≪歳入歳出それぞれ1716万4千円を減額し、総額7億8547万5千円としようとするもの。主要事項として、公共下水道整備事業、地方債利子償還金の減。

議案第28号 平成24年度館山市一般会計補正予算(第10号) ≪歳入歳出それぞれ5億9418万4千円を追加し、総額182億1883万7千円としようとするもの。

議案第28号 平成24年度館山市一般会計補正予算(第10号) ≪歳入歳出それぞれ5億9418万4千円を追加し、総額182億1883万7千円としようとするもの。

【追加議案】

議案第30号 人権擁護委員候補者の推薦について ≪人権擁護委員候補者として佐野昭雄さん(長須賀4番地の1)を推薦しようとするもの。

任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙の結果、次の方々が当選されました。

【議会提案議案】

議案第30号 人権擁護委員候補者の推薦について ≪人権擁護委員候補者として佐野昭雄さん(長須賀4番地の1)を推薦しようとするもの。

任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙の結果、次の方々が当選されました。

選挙管理委員会委員の選挙

任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙の結果、次の方々が当選されました。

【選挙管理委員会委員】

○庄司利光さん
○高梨哲朗さん
○長谷川輝代さん
○中山貴さん

発議案第1号 館山市議会

会議規則の一部を改正する規則の制定について ≪地方自治法の一部改正により、従来委員会のみに規定されていた公聴会の開催、参考人の招致が本会議においても可能となつたことによる改正。

議案第2号 館山市議会

委員会条例の一部を改正する条例の制定について ≪地方自治法の一部改正により、従来委員会の組織運営に関する規定が条例に委任されたことに伴う改正。

議案第2号 館山市議会

委員会条例の一部を改正する条例の制定について ≪地方自治法の一部改正により、従来委員会の組織運営に関する規定が条例に委任されたことに伴う改正。

議案第2号 館山市議会

委員会条例の一部を改正する条例の制定について ≪地方自治法の一部改正により、従来委員会の組織運営に関する規定が条例に委任されたことに伴う改正。

第1回臨時会に提案された議案を紹介します。

議案第1号 平成24年度館山市一般会計補正予算(第8号)

議案第1号 平成24年度館山市一般会計補正予算(第8号) ≪歳入歳出それぞれ6億1969万1千円を追加し、総額176億9721万円としようとするもの。

議案第29号 平成24年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第4号) ≪歳入歳出それぞれ1400万円を追加し、総額7億9947万5千円としようとするもの。

議案第29号 平成24年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第4号) ≪歳入歳出それぞれ1400万円を追加し、総額7億9947万5千円としようとするもの。

建設経済委員会の審査
(27・29号)
事業が遅れている理由は何かと聞いたところ、要望をしても国の予算が2割ほど削減されているのと、雨水の浸水対策事業に事業費が割かれていたためである、との説明がありました。

議案第29号 平成24年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第4号) ≪歳入歳出それぞれ1400万円を追加し、総額7億9947万5千円としようとするもの。

議案第3号 館山市議会
政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について ≪地方自治法の一部改正により、名称が政務活動費に改められ、用途も一部拡大されたことに伴う改正。

議案第3号 館山市議会
政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について ≪地方自治法の一部改正により、名称が政務活動費に改められ、用途も一部拡大されたことに伴う改正。

議案第3号 館山市議会
政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について ≪地方自治法の一部改正により、名称が政務活動費に改められ、用途も一部拡大されたことに伴う改正。

議案第3号 館山市議会
政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について ≪地方自治法の一部改正により、名称が政務活動費に改められ、用途も一部拡大されたことに伴う改正。

一般質問

一般質問通告要旨

市政に関する一般質問は、2月27日、28日の2日間にわたり、次の10名の議員が行ないました。議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとおりです。(太字の質問は次ページ以降に掲載しています。)

	秋山 貴 ①館山湾振興ビジョン(進捗状況と実施計画、 年次的評価) ②第2次館山市行財政改革方針(案)(財政効果のあった見直し事務事業、1課1削事業による市民サービスの影響) ③商店街の活性化と地方自治体(商店街の活性化と行政の役割、 商店街の人材育成)
	鈴木 正一 ①安心安全のまちづくりに関して(防災ラジオの反響、ハザードマップ) ②農業振興(旧公設地方卸売市場用地、 耕作放棄地の現況 、有害鳥獣対策) ③休校中の富崎小学校の利用 ④未利用市有地(環境センター用地) ⑤館山大橋の補修予定 ⑥ 平砂浦フラワーラインの景観
	榎本祐三 ①館山市のごみ再資源化事業(ペットボトル処理の月報、 附帯決議の対応 、ペットボトル処理の訴訟) ②館山市の経済活性化対策(館山マリーナの建設、 八犬伝を生かした観光 、安房医療福祉専門学校への対応)
	鈴木順子 ①健康、医療をめぐる施策の具体的中身(予防事業強化 、救急医療充実) ②子育て事業 ③「 渚の駅 」商業施設棟 ④介護施設の安全性 ⑤雇用施策
	内藤欽次 ①中学校のいじめ問題(大津市の調査報告書からの教訓 、いじめに対応する第三者機関) ②ペットボトル処理業務(委託の業務内容、契約内容・方法・期間等) ③市内防犯灯の電気料金(支払の補助 、近隣市町の状況)
	森 正一 ①市内公立小学校の校舎建てかえ等(建てかえに要する費用、今後のスケジュール、超小規模校) ②いじめゼロへ向けて(いじめ相談室窓口の設置 、いじめゼロへ向けての検討) ③スポーツ観光(各種団体への合宿誘致、 出野尾サッカー場) ④入札に関して(落札率の高止まり、予定価格の事後公表)
	龍崎 滋 ①国の平成24年度補正予算への対応(学校の耐震化・老朽化対策 、通学路の交通安全対策、地域の雇用創出) ②館山市の美化活動(まちをきれいにする条例 、観光立市館山の美化) ③給食センターの施設更新(新施設の完成、施設の機能) ④館山城と城山公園の活用
	石井敏宏 ①館山市の自殺予防対策(現状分析、 具体的な対策) ②中学2年生自殺問題(アンケート結果、遺族の気持ち) ③広域のごみ処理施設の建設計画(1日あたり焼却量予測、計画規模) ④ 消防団員の出動手当 ⑤情報共有と市民参加のまちづくり(推進方法、意思決定のプロセスへの参加)
	本多成年 ①ごみ収集業務(有料化の目的 、分別収集の仕方) ②館山市の経済対策(住宅リフォーム制度の成果と取り組み 、医療・福祉分野における就労機会の創出、公共事業の増加と職員の減少の影響、民間の雇用を創出する事業展開、観光施設の老朽化対策)
	瀬能孝夫 ①改正高年齢者雇用安定法(民間企業への周知及び現状、市として職員への対応) ② 市民参加の議会開催 (子ども議会の開催 、 女性議会の開催) ③国の今年度補正予算案に対する市の計画・申請(防災・安全交付金、次世代自動車に必要なインフラの設置に関する予算)

※紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、5月中旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムでご覧ください。

主な質問と答弁

観光振興

- ・館山湾振興ビジョンは？
- ・八犬伝を生かした観光は？
- ・渚の駅商業施設棟は？
- ・出野尾サッカー場は？
- ・平砂浦フラワーラインの現況は？

問 館山湾振興ビジョン策定委員会としては進捗状況並びに実施状況について、年次的に評価をしているのか、しているのであれば評価内容を

問 (秋山 貴議員)

答 館山湾振興ビジョンを構成するプロジェクト及び個別施策の進捗状況と今後の実

問 平砂浦フラワーラインの景観について、今後どのように考えていくのか問う。

(鈴木正一議員)

答 平砂浦の松林は、砂防林としての機能はもとより、館山市の観光資源として重要な役割を果たしています。しかし、ここ数年、松くい虫により甚大な被害を受けています。

す。



平砂浦海岸の植樹行事

問 平砂浦海岸の植樹行事について問う。

(榎本祐二議員)

答 南総里見八犬伝は館山市の重要な観光資源であり、その有効な活用が観光振興について、松だけではなくマ

ンフラ整備として「鏡ヶ浦通り」、「汐入橋人道橋」が完成しました。また、海・浜のルー供用開始となり、周辺のイ

ンフラ整備として「鏡ヶ浦通り」、「汐入橋人道橋」が完成しました。また、海・浜のル

サキ、トベラ等の広葉樹を取り入れた砂防林の再生を計画しています。

また、昨年10月の財団法人

千葉県青少年協会主催によ

る植樹祭に引き続き、3月

10日には、館山市がボラン

ティアを募り、「平砂浦海岸

5000本植樹祭」を開催し

ました。

ルブックを作成し、ビーチスピーツ拠点の形成を推進してきました。このほか、館山夕日桟橋の供用を契機に、船舶の寄港についても、現在の需要に加え、「おがさわら丸」の寄港や災害時に備えた自衛艦、海上保安庁官船の訓練寄港など、新しい船舶の寄港が実現していることから、本ビジョンについては概ね計画どおり進んでいると考えています。

こうした活動を通じて、今後も、市民と共に、歴史ある平砂浦砂防林の再生に向けて取り組んでいきます。

今後も関連団体との連携を図りながら、八犬伝の効果的な利活用を推進するとともに、情報発信やPRなどを強化していきます。

問 「渚の駅」商業施設棟について、テナント交渉が辞退に至ったのは何が問題なのか問う。(鈴木順子議員)

これまで、優先交渉権に関連する施設などを取り込んだハイキング」を契機に、館山城や周辺の寺院、八犬伝定とともに、コースや施設の案内看板等も設置し、観光資源としての有効活用に努めています。さらに、観光協会をはじめとした観光関連団体による、八犬伝をテーマにした食の開発や南総里見八犬伝を題材にした南総里見まつりの充実など、様々な取り組みも活発になっています。

答 これまで、優先交渉権

者とテナント事業者の決定

に向けた協議をしてきましたが、2月7日、それまでの

細部にわたる話し合いにおいて、コンセプト内容に相違を

感じ、また各方面に見積もり

を依頼したが、投資額が予想

をはるかに上回り、収支バランスが取れないと判断したと

いう理由により辞退届の提出がありました。



花見客で賑わう里見桜まつりの様子

について問う。

(榎本祐二議員)

答 南総里見八犬伝は館山

市の重要な観光資源であり、

その有効な活用が観光振興について、松だけではなくマ

ンフラ整備として「鏡ヶ浦通り」、「汐入橋人道橋」が完成しました。また、海・浜のルー供用開始となり、周辺のイ

ンフラ整備として「鏡ヶ浦通り」、「汐入橋人道橋」が完成しました。また、海・浜のル

問 出野尾サッカー場において、更衣室やシャワー等の付帯設備の設置の可能性について問う。(森 正一議員)

答 雨天時の施設利用に際して、着替えや荷物置き場等に困っているとの声がありますので、更衣室の設置について、多目的広場の利用状況等について検討していくま

す。

産業振興・農業対策

- 商店街の人材育成は？
- 住宅リフォーム補助制度は？
- 耕作放棄地の現況は？

問 次代を担う商店街の人材育成と支援事業について問う。

(秋山 貴議員) 答 平成25年度は、館山商工会議所と連携を図りながら、人材育成セミナーなどの開催を検討するほか、長須賀地区を対象に千葉大学と連携し、地域住民と大学から派遣された人材と交流を図りながら、まちのあり方を考えています。

交流を通じて、商店街の今後を担う人材の育成と地域コミュニティの充足を図っています。

問 耕作放棄地の現況について問う。 (鈴木正一議員)

答 農地利用状況調査では、現時点で確認できている耕作放棄地面積は、農地としての再生利用が可能なものが、約45ヘクタール、森林化

しているなど再生が困難なものも含めると、約130ヘクタールにのぼります。さらに、今後調査を進めしていくことで把握される面積の増加が見込まれ、また、高齢化や後継者不足などが進むことにより残念ながら年々拡大する傾向にあります。

問 平成24年度行われた住宅リフォーム補助制度の成果と、平成25年度の同補助の取り組みについて問う。

(本多成年議員) 答 市民の住環境の充実及び経済対策を目的とし、平成24年度より新規事業として開始しましたが、多くの市民の皆様がこの制度を利用され、2月上旬をもつて補助金の交付は終了しました。

申請状況ですが、件数は169件、工事費の総額は約2億4,000万円であり、経済対策として十分な効果があつたと考えています。

なお、平成25年度についても、平成24年度と同規模での実施を予定しています。

問 学校の耐震化・老朽化対策について問う。 (龍崎 滋議員)

答 文部科学省の指導に沿い、現時点では平成27年度ま

市の施設・財産

- 防犯灯の電気料金に対する補助は？
- 学校の耐震化、老朽化対策は？

問 防犯灯の電気料金の支払いの補助について問う。

(内藤欽次議員) 答 防犯灯は、公共性の高い物であると認識はしています。

そのため、防犯灯の設置については館山市防犯協力会を通して補助をし、設置後の電気料金や維持管理についても、国は、地元町内会等にお願いをしています。

ご質問の電気料金等の補助については、これまでの経緯や、全ての町内会にもご理解をいただいている点を踏まえ、引き続き町内会等にお願いしたいと考へています。

また、西岬小学校西棟耐震改修工事及び館野小学校幼稚園耐震改修工事についても、国の平成24年度補正予算を活用するため、平成25年度から前倒しして追加予算を今議会で議決しました。

また、ごみ収集完全民間委託化に向けた、ごみ関連事業のあり方の検討については、可燃ごみ収集業務の業務範囲を分割し、複数の業者が業務を行うことによって、緊急時のリスクを回避し、安定的な業務が行える環境を整えました。このことは、業者の育成にもつながるものと考えています。

問 予防事業強化についての考え方、具体策を問う。 (鈴木順子議員)

答 市民にいつまでも健康で、長生きしていただくため、疾患予防及び重症化防止のための事業として、女子中学生チソをはじめとする各種予防

で小中学校の校舎・体育館の耐震化を完了する計画です。そのため、当初、平成25年度予算に計上する予定であつた北条小学校中央棟・低学年棟耐震改修工事及び館山小学北棟耐震改修工事については国の平成24年度予備費等を活用し、第1回臨時会で補正予算を計上し、前倒ししました。

また、ごみ再資源化事業等の契約内容等についての見直しについては、ごみの処理量に応じて支払いをする単価契約を採用すること、制限付き一般競争入札を採用すること、予算編成時に他市の業者から見積書を徴取し参考とすること、などの取り組みを行いました。

環境問題・健康福祉

- 決算に対する議会の附帯決議への対応は？
- 館山市まちをきれいにする条例は？
- ごみ収集の有料化は？
- 予防事業強化についての考えは？

問 平成23年度決算に対する議会の附帯決議への対応について、どのような取り組み

問 予防事業強化についての考え方、具体策を問う。 (鈴木順子議員)

答 市民にいつまでも健康で、長生きしていただくため、疾患予防及び重症化防止のための事業として、女子中学生チソをはじめとする各種予防



総合検診の様子

接種の実施や、がん検診など各種健診の実施のほか、小・中学生のうちから小児生活習慣病予防等に取り組み、「正しい生活習慣への見直し」を推進しており、今後も事業内容の改善を図りながら継続して実施していきます。

平成25年10月ごろには、千葉県国民健康保険団体連合会において、新システムの導入が予定されており、導入後は、特定健診・特定保健指導、介護保険データベースとの連携が可能になり、個人単位での状況把握ができる予定です。

問 総合検診の有料化をするのか、その目的を問う。
答 目的は3点あります。1つ目は、通常の大きさの

です。

現在、本条例により行っていることは、空き地の放置等により周辺環境に悪影響を与えている場合に、土地所有者に適切な管理を依頼することと、春と秋のごみゼロ週間を設け、町内会等による一斉清掃を通じて環境美化への関心を高めることなどです。

問 館山市まちをきれいにする条例は活かされているかを問う。
答 本条例は、地域の環境美化の促進及び美観の保護を図り、清潔で美しいまちづくりに資することを目的として、平成10年に制定したもの

防接種に関する情報発信や市民の生活習慣病予防等、疾病の予防に努めました。このほか、館山市に蓄積されている市民の健診情報をデータベース化するための構築作業を実施しており、平成24年度末の完成を目指しています。

問 館山市は、大津市の調査報告書から教訓として何を

教育問題、いじめ対策

- 大津市の調査報告書からの教訓は？
- いじめ相談室窓口は？

可燃ごみについては、平成14年度に指定袋制度を導入し、有料化していますが、一方で、

答 大津市の調査報告書からの教訓についてですが、大津市に関する報道では、学校と教育委員会が事実を隠してお伝えしています。

しかし、そのようなことは決してあってはならないことであると言えます。

そして、大きないじめにつながらないようにするためには、初期対応が大切であるということを、改めて認識しております。

館山市教育委員会として、また、館山市の学校においても、学校で起こりうる様々な問題の解決に当たつては、誠実に対応していく所存です。

また、今後の制度変更については、運営していく中で改善する必要が生ずれば見直します。

ます。

自殺予防対策は？

問 具体的な対策をどのように考へているのか問う。

答 尊い命を自殺から守るために、身近にいる人の早期の気づきと、その人が抱える問題を少しでも軽減することが重要と考えます。

このため、館山市においては、平成22年度から、千葉県の地域自殺対策緊急強化基金事業補助金を活用し、パンフレット等による相談窓口の周知や、自殺予防に関する講演会の開催など、予防啓発を中心とする自殺対策に取り組むとともに、電話や窓口における

相談などに對しては、適切な専門機関につなげたり、必要に応じて、保健師による訪問などにより対応しています。

問 いじめ相談室窓口の設置が予定より遅れていますが、遅れている理由、および現在の進捗状況について問う。
答 理由としては、相談員の人選が遅れたことによります。

なお、現在は、相談員が決定しており、平成25年3月26日から相談室を開設しておりま

消防団の出動手当は？

問 消防団員の出動手当について、増額を検討できないか問う。
答 (石井敏宏議員)

答 消防団員の出動手当について、消防組織法により市町村が負担することと定められ、館山市消防条例により金額が定められています。

館山市の消防団員の出動手当は、県内平均をやや上回る金額となっており、現時点において消防団員の出動手当について増額の考えはありません。

市民参加の議会 開催は？

問 子ども議会、女性議会の開催について問う。

答 (瀬能孝夫議員) 館山市では、過去に「中学生議会」として開催していました時期があります。

市の将来を担う子ども達

が、市民としての意識や市政への関心を高めるという目的のもと、数年間実施していました。

次世代自動車に必要な インフラは？

問 電気自動車（EV）などの次世代自動車に必要なインフラの設置に関する予算について問う。

子ども達に議会を経験させることは、貴重な体験となると認識していますが、子ども達の負担を考慮すると、現状での開催は、困難であると考えます。

一方、女性議会とは、女性

が女性の視点に立った質問や提案等を議会形式で行い、これを市政に反映させるものと認識しています。

現状における女性目線の意見等については、市民代表である市議会議員へ寄せられ、それらは、議会においても取り上げられ、質疑討論等がなされいているところです。

また、議会とは別に、市长への手紙やメールによる投稿、さらには、直接各課へのご意見やご質問が寄せられる場合もあります。

平成23年度は、「市長と語ろう女性の集い」と題して、市長と女性グループの間でまちづくりに関する建設的な意見交換を行い、女性目線の意見等も市政に反映させています。

これらを踏まえ、現時点での開催は、考えていません。

市議会議員によると、館山市では、過去に「中学生議会」として開催していました時期があります。

次の定例会の予定

- 開会日 6月6日(木)午前10時～
- 一般質問 6月11日(火)、12日(水)
予備日：13日(木)
各日それぞれ午前10時～
- 請願・陳情提出締切： 5月31日(金)正午まで

会議録の検索・閲覧

第1回臨時会、3月定例会

市議会を 傍聴しませんか！

本会議の傍聴手続きは、希望する当日に議会事務局（役所本館2階）前で備え付けの用紙に住所、氏名等を記載するだけです。（委員会の場合は事前に連絡をお願いします。）

また、本会議を開いている時は、インターネットで、本会議の生中継を配信していますので、ご利用ください。（館山市のホームページからご覧になります。）

また、本会議を開いている時は、インターネットで、本会議の生中継を配信していますので、ご利用ください。（館山市のホームページからご覧になります。）

また、今月号から、議会だよりの文字を大きくし、ページ数も2ページ増やし、見やすくなるよう工夫しました。これからも皆様に親しまれる議会だよりにしていきます。
(秋山 貴)

このからも皆様に親しまれる議会だよりにしていきます。
(秋山 貴)

* * 議会報編集委員会 *

(○委員長 ○副委員長)

○秋山 貴 ○三澤 智

石井信重 本多成年

議会や議会だよりに関するご意見、ご質問等は議会事務局まで電話又はメール（番号及びアドレスは表紙参考）でご連絡ください。

答 今回の国の補正予算案の中に、次世代自動車充電インフラ整備促進事業として盛り込まれています。

この事業は、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に必要な充電インフラの整備を加速することにより、設備投資等を喚起するとともに、次世代自動車の更なる普及促進を図ることを目的とした基金を設立し、ガソリンスタンド、道の駅、コンビニエンスストア、ショッピングセンター、公園等の施設に、電気自動車の充電器を設置する場合に、その費用の一部を補助しようとするものです。

次世代自動車の普及促進については、館山市地域新エネルギー詳細ビジョンの中でも、環境負荷を軽減するための手段として有効であることが、優先度の高いプロジェクトに位置づけていますし、その普及促進のためには、充電インフラの整備は、必要不可欠なものと認識しています。

及び委員会の会議録は、5月中旬にホームページから検索・閲覧ができます。

● 編集後記 ●

今年は、例年より春の訪れが早かつたようで、4月の初めには城山の桜も満開となっていました。

経済の再生を最重点とする第2次安倍内閣の政策により、強力な経済対策の実施が予定されています。

（略）

平成25年第1回臨時会提出議案議決結果

議案番号	件 名	議 決 結 果
議案第 1号	平成24年度館山市一般会計補正予算（第8号）	原案可決 全会一致

平成25年3月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件 名	議 決 結 果
議案第 2号	平成25年度館山市一般会計予算	原案可決 賛成多数
議案第 3号	平成25年度館山市国民健康保険特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第 4号	平成25年度館山市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第 5号	平成25年度館山市介護保険特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第 6号	平成25年度館山市下水道事業特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第 7号	館山市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例及び館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第 8号	館山市財政事情の作成及び公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第 9号	フレフレ・たてやま応援条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第10号	館山市コミュニティ医療推進基金条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第11号	館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第12号	館山市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第13号	館山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第14号	館山市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第15号	館山市農業委員会委員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第16号	館山市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第17号	館山市が管理する市道に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法を定める条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第18号	館山市市道に係る移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第19号	館山市準用河川管理施設等の構造基準に関する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第20号	館山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第21号	館山市都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第22号	館山市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第23号	平成24年度館山市一般会計補正予算（第9号）	原案可決 全会一致
議案第24号	平成24年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第25号	平成24年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致
議案第26号	平成24年度館山市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第27号	平成24年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第28号	平成24年度館山市一般会計補正予算（第10号）	原案可決 全会一致
議案第29号	平成24年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決 全会一致
議案第30号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
発議案第1号	館山市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決 全会一致
発議案第2号	館山市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
発議案第3号	館山市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
陳情第18号	生活保護基準引き下げはしないことなどを国へ意見書提出することを求める陳情書	了承できない 文教民生委員会